



# 全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 竹内洋司／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271  
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>



## 全消協第41回定期総会

### 全消協初代会長、平野和男さんの地元 「新潟」で第41回定期総会を開催

2017年8月27日、新潟県・新潟東映ホテルで、開催地である新潟県消防職員協議会の仲間たちによる厚い支援のもと全国消防職員協議会第41回定期総会を開催し、全国より約420人の仲間が集まった。司会は東北ブロックの藤岡貴志幹事が務めた。  
次第の前に、長野県消防防災ヘリ墜落事故で殉職した会員、九州北部豪雨災害により被災された方々に対し、全員で黙とうを捧げた。

### 会長あいさつ

近江孝之 会長

昨年の第40回の福岡総会から早くも1年が経過しました。アプレコンをはじめとするPSI活動や、民進党消防政策議員懇談会の支援のもと、総務省消防庁に対する要請活動、各種講座やセミナーの開催など年次行事を、会員皆様のおかげをもちまして無事に開催することができました。とりわけ、今年度は消防庁で開催されたパワハラ対策についてのアンケート調査や検討会に対し、全消協として積極的に参加したことを改めてご報

告します。  
また、初の試みとして、連合開催のシンポジウムに「大規模災害時における消防職員の活動と消防を取り巻く課題」として、全消協四国幹事と女性代表による事例報告、その後の「日本の消防職員の現状と団結権」と題するパネルディスカッションに参加しました。傍聴していただいた連合関係者やマスコミ、政府関係者の方々に消防職員の抱える問題を伝えることができました。今後も、自治労支



援のもと、連合・公務労協と連携し、消防職員の労働基本権問題に対する国民のコンセンサスを得る活動を積極的に続けていきます。  
女性連絡会・ユース部ともに精力的に活動していただきました。とりわけ、両代表については講演や他団体からの執筆依頼などにも対応していただきました。  
本日の総会は、今後2年間の全消協活動方針と新役員体制が提起される重要な総会です。ご参加の代議員の皆様におかれましては、しっかりとご議論ご審議していただき、団結権回復と消防職員の地位向上にまた一歩近づきよう、活発な全消協総会をお願いします。

開催ブロック代表



新潟県消防職員協議会  
会長 渡辺 和良

来賓紹介(敬称略)



自治労本部  
副中央執行委員長  
杉谷 尚彦



自治労新潟県本部  
書記長  
皆川 正裕



自治労組織内議員  
参議院議員  
相原 久美子

# 第41回 定期総会

## 全消協活動を振り返り、 新たなプランに向けて 活発な議論を行う



総会は、議事次第に沿って進行し、相澤健二事務局長より「2017年度活動経過報告」、近江孝之会長より「宮崎、都城への対応について」、青木玲奈女性連絡会代表より「女性連絡会活動経過報告」、成吉丈ユース部代表より「ユース部活動経過報告」、井戸章夫副会長より「2017年度会計決算報告」、高橋博会計監査委員より「2017年度会計監査

報告」が、それぞれ行われ、質疑の後、承認された。次に、村上直樹副会長より、第1号議案「2018～2019年度の活動方針(案)」について、女性連絡会・ユース部の取り組み方針については、それぞれの代表より行われた。

「規則の一部改正について(案)」が提案され、それぞれ提案についての質疑の後、可決された。役員選挙委員会より、全消協役員選挙規程に基づく承認をもって、近江会長から村上新会長を代表とした新体制へと引き継がれた。議長団解任の後、村上会長による「団結がんばろう」で閉会した。

### 議長団

東北ブロック五泉市消防職員協議会から高橋力さん(写真・左)、東海ブロック名古屋消防職員協議会から岩崎安伸さん(写真・右)を議長に選出し、議事進行を務めていただいた。



### 新規加盟単協紹介

足寄消防研究会(北海道)の青木義隆会長よりあいさつと、近江会長より全消協バッチの贈呈が行われた。



### 託児施設利用について



総会会場ホテル内の一室に託児所を設置し、定期総会に出席した会員に利用していただきました。育児に頑張っている会員を応援し、すべての消協行事への参加がしやすい環境をつくるために設置していますので、是非ご利用ください。託児利用方法などは、各種行事案内に詳細を掲載しています。そのほか、託児利用についてご不明な点は、全消協事務局までお問い合わせください。

四役

ブロック幹事

ユース部役員体制

全消協新役員体制

会長



村上 直樹  
福岡県  
福岡市  
春日・大野城・那珂川  
消防行政研究会

副会長



沼田 健太郎  
北海道  
函館市  
消防職員協議会

副会長



斉藤 英之  
長野県  
須坂市  
消防職員協議会

事務局長



竹内 洋司  
三重県  
四日市市  
消防職員協議会

事務局次長



吉村 大作  
鹿児島県  
指宿南九州  
消防職員協議会

北海道



中村 智幸  
北海道  
江別市  
消防職員協議会

東北



本多 将人  
山形県  
尾花沢市  
消防職員協議会

関東甲



福嶋 薫  
神奈川県  
横浜市  
消防職員協議会

北信



返町 直也  
長野県  
須坂市  
消防職員協議会

東海



大山 剛史  
三重県  
桑名市  
消防職員協議会

近畿



川上 修司  
大阪府  
交野市  
消防職員協議会

中国



西尾 基貴  
広島県  
尾道消防職員協議会

四国



山端 孝明  
香川県  
高松市  
消防職員協議会

九州



佐藤 昭徳  
宮崎県  
延岡市  
消防職員協議会

会計監査

長山 誠  
熊本県  
宇城消防職員協議会

赤羽 仁志  
長野県  
松本広域連合  
消防職員協議会

〔代表〕全消協幹事・九州ブロック幹事



吉田 真也  
福岡県  
直方市  
消防職員協議会

〔副代表〕四国ブロック幹事



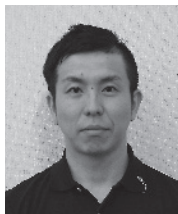
三好 浩一郎  
愛媛県  
新居浜市  
消防職員協議会

〔副代表〕東北ブロック幹事



鈴木 銀河  
宮城県  
栗原消防職員協議会

北海道ブロック幹事



江部 寿  
北海道  
釧路市  
消防職員協議会

関東甲ブロック幹事



高木 康臣  
埼玉県  
越谷市  
消防職員協議会

北信ブロック幹事



酒井 一成  
富山県  
立山町  
消防職員協議会

東海ブロック幹事



伊藤 達也  
三重県  
亀山市  
消防職員協議会

近畿ブロック幹事



山田 哲也  
京都府  
京田辺市  
消防職員協議会

中国ブロック幹事



藤原 稔文  
広島県  
福山消防職員親和会

四国ブロック代表



今城 裕果  
香川県  
高松市  
消防職員協議会

〔代表〕全消協幹事・九州ブロック代表



青木 玲奈  
福岡県  
大牟田市  
消防改善推進委員会

北海道ブロック代表



岡久 佳乃子  
北海道  
江別市  
消防職員協議会

東北・北信・関東甲ブロック代表



池田 衣智子  
埼玉県  
越谷市  
消防職員協議会

東海・近畿・中国ブロック代表



前川 和奈香  
三重県  
鈴鹿市  
消防職員協議会

女性連絡会役員体制

女性連絡会役員体制

# 国際連帯活動報告

## FFDCと全消協

仲野 桂太 特別幹事

2017年11月、スイス・ジュネーブで開催されるPSI世界大会に、全消協から村上会長以下4人が参加する。今回の世界大会で全消協は韓国消防発展協議会(以下、FFDC)と共に、消防職員の労働基本権回復を強く訴えた共同決議案を提出する。

韓国では、公共部門の労働者の権利を制約すべきとする風潮が非常に強く、また国際条約の批准に

についても消極的であり、ILO87号条約および98号条約を批准しておらず、日本と同様、消防職員に労働基本権(団結権)を認めていない。

このような国内情勢の中、消防職場の劣悪な労働条件を改善するため、2006年に3人の消防職員が中心となり、「国民のための消防を作ろう」という趣旨で、インターネットコミュニティが開設



2017年6月6日、第45回研究集会に参加したFFDCバク会長以下4人と全消協役員。

され、FFDCの運営が開始された。その後、2008年にPSIが韓国ソウル市で開催した「消防救急労働者ネットワーク発足会議」に全消協と共に参加し、消防職員の労働基本権回復のための記者会見を国会で実施した。

また、2009年には、FFDCが中心となり、韓国全土の消防職員に呼びかけ、長時間労働の解決に向けた「未払い超過勤務手当支給」の訴訟を行った。この訴訟は最終的に原告人数2万8910人にまで広がり、原告全員が支給を勝ち取るという大きな成果をあげた。また、この訴訟により長時間労働を解決するため、勤務体制も見直され消防職員の人員増に繋がる効果もあった。さらに、2013年にはPSIへの加盟も果たし、PSI活動にも積極的に参加している。

**最新の全消協活動を配信中です**

ぜひ、アクセスや「いいね!」をお願いします。

<p>全消協 ホームページ</p>	<p>全消協 公式Facebook</p>	<p>女性連絡会 公式Facebook</p>
-----------------------	---------------------------	-----------------------------

次回、全消協学習会

## 第48回労働講座

12月8日(金)～9日(土) 場所 東京・自治労会館

### 半鐘のこぼれ

プロ野球の二刀流で活躍している大谷翔平選手は高校1年生の時、目標達成表と「ドリーム」ラフト1位8球団」という夢を書き、それを実現するため日々練習に励んだという。同じくサッカー日本代表の本田圭佑選手は、小学生のころに「世界一になる」という夢を書き、その夢の実現のため毎日日記を書き続け、今も継続しているという。2人に共通して言えることは、目標を明確にし、達成というゴールから逆算して日々取り組んでいるということだ。

では、私たち全消協運動の柱である「団結権回復」の実現に向けて、いま必要なものは何か。それは間違いなく組織強化拡大である。ある人と言われたことがある。

組織強化拡大に正解はない。とにかく動いて動いて、とにかく動く。そうすれば誰かに響き、そこから道は開ける。簡単に出来ることではないと思うが、諦めず粘り強く活動していきましょう。

まだまだ全国には、上司等からのハラメントにより自ら命を絶つ職員がいる。人の命を救うはずの我々の職場にあってはならない。住民の身体・財産を守ることが我々の使命であり、その使命を果たすには、まず自分の職場を安心安全で働きやすい職場にすることが重要である。消防職員協議会はその一翼を担っていると思っている。この活動を通じて、消防という職場を誇り高いものにしていきたいと思う。全消協の皆様、ともに頑張りましょう!

川上修司(近畿プロツク幹事)